

事業シート（概要説明書）						
仕分対象事業名（個別事業名）		食育事業				
中事業名		食育事業	担当部・課名	健康福祉部市民健康課		
総合計画上の位置付け（分野名）		健康福祉	担当名	健康づくり担当他		
事業開始年度		平成18年度	根拠法令	食育基本法		
実施方法		直接実施				
		業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者：神奈川県栄養士協会）				
		補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体：）				
		貸付（貸付先：） その他（）				
事業概要	目的 （何のために）	食と健康には密接な関係があり、毎日の生活の基本である「食」を通して、市民の身体と心の健康維持増進を図る。 心と身体の健康を、より有意義かつ効果的に維持増進させるため、「食」に関わる個人・団体等の個々の活動の活性化を図れるような連携が取れる体制をつくる。				
	対象 （誰・何を対象に）	市民・団体・事業者・生産者・教育関係者等				
	事業内容 （手段、手法など）	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉食育推進計画を理解し、地域で食育を担う食育ボランティアを養成するため、「かまくら食育クラブ員養成講座」を開催。講座を修了した者は「かまくら食育クラブ」に加入し、地域活動を実施していく。将来的に地域食育のリーダーとしての役割を担えるように、自主的な活動や他の団体等との連携体制が拡大できるよう活動のバックアップを行う。 ・食育クラブと既に市内で活動している団体等との連携体制の構築を目的に、団体等との情報交換及び交流を持つための交流会等を開催する。 ・毎日の生活に関わる「食」をテーマに、全市民を対象にした講座を開催し情報提供等を行う。 ・市民、団体等への鎌倉食育推進計画の周知を行い、計画の詳細を示した行動計画の進行管理も行う。 				
	事業の必要性	食と健康には密接な関係があり、健やかな生活を営むには食について意識することは重要なことである。現在の鎌倉の「食」に関して取り巻く状況と課題を把握し、それらを改善していくために市では「鎌倉食育推進計画」を策定した。食育推進計画を理解し、地域で食育を推進するリーダーとなる食育クラブを養成し、市内で既に「食」について考え活動している多くの団体や事業者等とが協力し合い、鎌倉の食育を推進するための連携体制を作ることは重要と考える。				
コスト	平成22年度		人件費内訳		従事職員数	
	事業費	8,976 千円	{	職員構成	平均人件費 × 従事職員数	
	人件費	4,519 千円		担当正職員	4,519 千円	0.5 人
	総計	13,495 千円		臨時職員他	0 千円	0 人
事業費 （財源内訳・単位千円）		年度	総額	補助対象事業の全体経費に対する 市の負担（支出）割合	平成22年度予算の財源内訳	
		H19(決算)	1,514	-	国補助金	0
		H20(決算)	2,088	-	県補助金	7,187
		H21(決算見込)	1,080	-	起債	0
		H22(予算)	8,976	-	一般財源	1,789
平成22年度 事業費内訳		報償費：かまくら食育クラブ員協力者謝礼（食育クラブ員が市の事業に協力した場合の活動費） 664千円 かまくら食育クラブ講師等謝礼（食育クラブ員養成講座と一般市民対象の講座を合わせ、「食育クラブ」と総称している） 310千円 鎌倉食育推進会議委員謝礼 224千円 消耗品費： 239千円 委託料：地域食育推進事業委託料 352千円 食育健康づくり調査委託料 7,187千円 } 通常事業 単年度事業（予算増分）				

活動実績	【活動指標名】 / 年度実績・評価	単位	H19年度	H20年度	H21年度
	かまくら食育クラブ員養成講座開催数 (参加者数)	回 (人)	1 (12)	2 (32)	1 (18)
	かまくら食育クラブ(全市民向け)開催日数 (受講者数) 市民健康課単独開催分	回 (人)	8 (173)	5 (98)	3 (52)
	鎌倉食育推進計画に掲げる事業の進捗状況 (上段: 項目数 下段: 実施事業数)	個	-	18 (26)	18 (26)
単位当たりコスト (事業費/活動指標)	食育クラブ員養成講座事業費 / 養成講座受講者数	円	5,417	4,563	5,722
成果目標 (現状の成果及び今後どのようにしたいか、定量的な評価で示す)	<p>・食育クラブ員の養成はほぼ順調で、クラブが講座等を企画・運営するなど自主的な活動を実施し、地域食育リーダーとしての形が固まりつつある。</p> <p>今後、クラブの組織づくりのバックアップをすると共に、各団体等と協働で事業を実施していけるような連携体制の構築を目指す。</p> <p>・地域に密着した会場を拠点に、地域の方々が食に関する体験ができる講座を食育クラブが企画・運営するステーション事業を充実させ、地域での食育推進をより一層目指す。</p> <p>・食育クラブのバックアップに重点を置いたことで、減少傾向にあった一般市民対象の講座開催の充実を図る。</p>				
成果実績 (成果指標の目標達成状況等)	【成果指標名】 / 年度実績・評価	単位	H19年度	H20年度	H21年度
	かまくら食育クラブ員参加者数 (団体)	団体	11	11	11
	かまくら食育クラブ員参加者数 (個人)	人	17	44	61
	ステーション事業実施日数 (参加者数) 1日6組12人程度募集	回 (人)	-	4 (22)	4 (19)
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<p>・食育クラブ員の養成とクラブが鎌倉市の地域食育を担うリーダー的存在になれるよう、平成21年度までクラブのバックアップに重点を置いてきた。</p> <p>・市内には、既に「食」について考え活動している多くの個人・団体・事業者・製造業者等が存在する。市の食育を推進していくためには個々の力や活動に頼るのではなく、それぞれを繋ぐ連携体制をつくり協力し合うことが重要で課題でもある。</p> <p>平成22年度からは、引き続き食育クラブをバックアップするとともに、この連携体制を構築し、市の食育を推進する体制の基礎としたい。</p> <p>・あわせて鎌倉食育推進計画に掲げる個々の事業の着実な進捗を図る必要がある。</p>				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)					
特記事項 (事業の沿革等)	<p>平成22年度は通常の事業実施に加え、平成20年3月に策定した「鎌倉食育推進計画」を平成24年度末で見直しをする必要があり、基礎データの収集及び現状把握のため、調査委託を実施する。</p> <p>・主な調査内容は、アンケート用紙の発送及び回収、データ分析、調査報告書及び概要版の作成</p> <p>調査項目数 健康づくり意識調査：世代によって70項目程度 食育計画改定調査：15～20項目</p> <p>・調査委託料内訳(緊急雇用創出事業 7,187千円)</p> <p>人件費 4,461千円、印刷費 333千円、郵送費 851千円、電算集計 244千円、概要版作成 333千円、技術経費 623千円、消費税 342千円</p>				